

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 洋行

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	医療情報学科	夜・通信	39 単位	6 単位	
	臨床工学学科	夜・通信	38 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 特になし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 洋行

1. 理事（役員）名簿の公表方法

請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立学校元教員	平成30年7月7日～ 令和4年7月6日	人事・労務・法務・ 財務の決定、執行
非常勤	国立大学・公立大学 名誉教授	令和元年11月9日～ 令和4年7月6日	人事・労務・法務・ 財務の決定、執行
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 洋行

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
両学科とも授業計画書(シラバス)については次年度の教科担当者が決まり次第、所定の様式にて作成、提出を依頼している。(1月・2月に実施) 提出されたシラバスは学科で取りまとめ、授業開始時までのガイダンスで公表している。	
授業計画書の公表方法	請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
両学科とも成績の評価は、定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況などを加味した上で総合的に行う。 成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。 成績の評価は、80点以上 A、70点以上 B、60点以上 C、59点以下 Dをもって表し、Dを不合格としている。 また学生の出席時間数が、講義・演習3分の2、実習5分の4以下の場合には、単位を認定しない。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>両学科とも客観的な指標として、以下の方法を行っている。 成績評価は100点満点換算にて各授業科目の平均点を算出し、順位を出している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>様々な医療の現場で患者さんのために貢献できる医療従事者になれると認め、下記の条件を達成した者を卒業と認定する。</p> <p>卒業のための条件</p> <p>(1) 臨床工学学科は3年、医療情報学科は2年以上在籍した者 (2) 卒業するために必要な単位（卒業所要単位数）を取得した者 (3) 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 (4) 卒業判定会議において卒業可と判定された者</p> <p>卒業のための条件については新入生オリエンテーションにおいて、学生便覧等を通じて学生に十分理解させ、周知徹底している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>請求があれば、事務室に備付の資料を閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 洋行

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している貸借対照表を閲覧
収支計算書又は損益計算書	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している収支計算書を閲覧
財産目録	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している財産目録を閲覧
事業報告書	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している事業報告書を閲覧
監事による監査報告（書）	事務室に申し出のうえ、事務室に保管している監事による監査報告を閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		医療専門課程	医療情報学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	91 単位	56 単位	45 単位	4 単位	-	-
			105 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		16 人	0 人	3 人	6 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>履修方法は、講義、演習、実習の3つとする。</p> <p>授業計画書（シラバス）については次年度の教科担当者が決まり次第、所定の様式にて作成、提出を依頼している。（1月・2月に実施）</p> <p>提出されたシラバスは学科で取りまとめ、授業開始時までのガイダンスで公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績の評価は、定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況などを加味した上で総合的に行う。</p> <p>成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。</p> <p>成績の評価は、80点以上 A、70点以上 B、60点以上 C、59点以下 Dをもって表し、Dを不合格としている。</p> <p>また学生の出席時間数が、講義・演習3分の2、実習5分の4以下の場合には、単位を認定しない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業のための条件</p> <p>(1) 医療情報学科は2年以上在籍した者</p> <p>(2) 卒業するために必要な単位（卒業所要単位数）を取得した者</p> <p>(3) 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者</p> <p>(4) 卒業判定会議において卒業可と判定された者</p> <p>定期試験、実習評価、出席日数、学内外の活動などにより、総合的に判定し、卒業判定会議にて認める。</p> <p>卒業判定会議：校長、副校長、各クラス担任により構成する。</p> <p>判定：上記成績表及び出席日数ならびに日常生活態度より検討する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>補講ならびに個別指導の実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、調剤薬局			
(就職指導内容) 履歴書指導ならびに面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療秘書検定取得率：90%以上			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
31年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談の実施、レクリエーションによる学生間交流など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	臨床工学学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	109 単位	62 単位	26 単位	23 単位	-	-
			111 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		82 人	0 人	5 人	9 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 履修方法は、講義、演習、実習の3つとする。 授業計画書（シラバス）については次年度の教科担当者が決まり次第、所定の様式にて作成、提出を依頼している。（1月・2月に実施） 提出されたシラバスは学科で取りまとめ、授業開始時までのガイダンスで公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績の評価は、定期試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況などを加味した上で総合的に行う。 成績は100点を満点とし、60点以上を合格とする。 成績の評価は、80点以上 A、70点以上 B、60点以上 C、59点以下 Dをもって表し、Dを不合格としている。 また学生の出席時間数が、講義・演習3分の2、実習5分の4以下の場合には、単位を認定しない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業のための条件 (1) 臨床工学学科は3年以上在籍した者 (2) 卒業するために必要な単位（卒業所要単位数）を取得した者 (3) 卒業期日までに必要な学費等を全額納入している者 (4) 卒業判定会議において卒業可と判定された者 定期試験、実習評価、卒業論文、出席日数、学内外の活動などにより、総合的に判定し、卒業判定会議にて認める。 卒業判定会議：校長、副校長、各クラス担任により構成する。 判定：上記成績表及び出席日数ならびに日常生活態度より検討する。</p>
学修支援等
<p>（概要） 補講ならびに個別指導の実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	20人 (69%)	9人 (31%)
(主な就職、業界等) 病院、クリニック			
(就職指導内容) 履歴書指導ならびに面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 臨床工学技士国家試験取得率：90%以上			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
31年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	7人	7.7%
(中途退学の主な理由) 学力的な理由、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談の実施、レクリエーションによる学生間交流など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療情報学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	施設及び維持費 17 万円、教育器材整備費 10 万円、学友会費 1 万円、実験実習費 5 万円
臨床工学学科	200,000 円	1,000,000 円	380,000 円	施設及び維持費 17 万円、教育器材整備費 10 万円、学友会費 1 万円、実験実習費 10 万円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://shikoku-mec.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の結果をもとに教育課程、学生指導、学校評価等について意見交換を行う。 開催は原則年 1 回とし、反省及び次年度に向けた学校運営の改善を図る。 学校関係者評価の委員は、原則として企業、高等学校、在校生保護者、卒業生からなる 5 名以上とする。 学校関係者評価委員の選任は校長が行う。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
特定医療法人 久会 久病院	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	本校卒業生代表
高知大学医学部附属病院	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	関連業界関係者
医療法人 緑風会 海里マリン病院	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	関連業界関係者
元高等学校教頭	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	教育関係者
在校生保護者	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	学生の保護者代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://shikoku-mec.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://shikoku-mec.ac.jp/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	四国医療工学専門学校
設置者名	学校法人すみれ学園 理事長 内田 洋行

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。